

「うん」

団長はまた、太刀をふりかぶりました。

と、クロは、ウウウとひとこえほえるといっしょに、

正坊のからだをかるがるとくわえて、あっといううちに、

見物の中をかけぬけて、テントの外へとび出してしまいました。

これには見物も団長も留じいさんも

あっけにとられてしまいました。

正坊もびっくりしてしまいました。



やがてテントの外の原っぱにおろされると、

正坊はクロの頭やせなかをやさしくなでまわしまして、

なだめすかしました。

そしてやっと、舞台へつれてかえると、

まず見物席に向かっておわびをいい、

賊のすがたの団長にあやまりました。

見物はかえって、やんやとはしゃぎさわいで喜びました。

団長は舞台のうしろでにが笑いをしていました。

